

◆ 病院概要

● 開設者名 社会医療法人 新潟勤労者医療協会 理事長 五十嵐 修

● 病院長名 山川 良一

● 標榜診療科目

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、糖尿病内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、婦人科、リハビリテーション科、泌尿器科、リウマチ科、麻酔科、心臓血管外科

● 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	261床	242.3人
回復期リハ病棟	36床	34.5人

● 一日平均外来患者数 321.5人

● 医師数 常勤 29人 非常勤 3.6人

● 年間手術件数 304件

● 病院併設施設 通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、病児デイサービスさしやぼっぼ

● 救急告示病院の指定 有

● 学会指定施設の状況

日本整形外科学会専門医研修施設、日本内科学会教育関連病院、日本神経学会認定准教育施設、日本アレルギー学会認定准教育施設、日本消化器病学会関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本小児科学会教育関連施設、日本認知症学会教育施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本循環器専門医研修関連施設、日本プライマリケア連合学会認定医研修施設、日本専門医機構総合診療専門医基幹施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設



医学生の皆様へ

指導医より

当院では、より幅広い患者層に対応できるよう、総合診療科研修を内科研修の軸に据えています。単なる内科の寄せ集めではなく、診断や幅広い視野を重視した、どこの科に行っても使える技術を体得できるよう考えています。また県内随一の小規模研修病院という環境を活かして、研修医一人一人のニーズや特徴に合わせた機動的な研修ができるようになっていきます。「この分野を重点的にやりたい」「研修中にこんな経験ができるだろうか」「こういう点が不安」など思うところがあれば何でも相談してください。診療科や職種の枠を超えて、病院全体でサポートしていける気風のある研修施設です。患者さんやスタッフから必要とされているとすぐに実感できると思います。やりがいもあって楽しく勉強できる研修を一緒に作り上げていきましょう。



研修医より

私は医学生の頃、「医者としてのスキルを磨きたい、でもハードすぎてついていけなくなったらどうしよう」と悩んでいました。実家に近いからという理由で下越病院を見学したとき、医師としての人生とスポーツマンとしての人生を両立している先輩研修医がいて驚きました。私の中で田んぼに囲まれた研修病院はブラックで、研修医なのに1人で任されるというイメージがあったのですが、そんなことはありませんでした。下越病院は、研修医として働きたいけど体力的に不安がある方からcommon diseaseをバリバリ経験して、ポスター発表などの学会発表やCVや内視鏡といった手技もたくさん経験したい方まで幅広く対応できる病院です。自分に合わせて、研修をカスタマイズできるのが下越病院の魅力です。また、困ったときに相談できる先生がいてくれるので心強いです。他科へのコンサルトもしやすいですし、小さい規模の病院なので珍しい症例の患者さんがやってくると、科を超えてその患者さんの話が耳にやってきます。医学生の頃はみんなと足並みをそろえるのが勉強のベースとなりますが、研修医は病院によって千差万別なので自分がどういう研修医になりたいか、どういう研修をしたいかが大切になってくると思います。これを読んでくれた医学生の方々が自分にピッタリの研修先が見つかることを祈っています。



検討会風景

◆ Access



●JR新津駅より車で10分 磐越自動車道新津I.Cを降りてすぐ

照会先
 事務長室 事務次長 渡辺 大樹
 TEL 0250-22-4711 FAX 0250-24-4740
 E-mail kaetsu@niigata-min.or.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法
 当院ホームページ「医学生実習申込フォーム」よりお申し込みください。
http://niigata-min.or.jp/kaetsu_php/mstudent/mform.php

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2021年度研修医)

研修プログラム

●目的

臨床の基本である内科を中心に、必要と考える研修科を一定期間研修することにより、患者を全人的に診ることのできる基本的な診療能力を修得する。

●特徴

年間を通して救急研修が可能。
 内科32週、外科系6.4週、小児科6.4週、産婦人科4週、地域医療8週、精神科4週、一般外来5.6週、救急15.2週、選択28週の研修を行う。
 卒業臨床研修評価機構(JCEP)から認定されています。2020年6月に更新。



<プログラム例>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年次	救急 4週	内科 32週 (相当期間: 36週 - 救急4週)								救急 4週	外科(系) 6.4週 (相当期間: 8週 × 8単位/週)	救急 1.6週 (相当期間: 8週 × 2単位/週)
二年次	小児科 6.4週 (相当期間: 8週 × 8単位/週)	救急 1.6週 (相当期間: 8週 × 2単位/週)	産婦人科 4週	地域医療 8週	一般外来 4週 (相当期間: 8週 × 5単位/週)	精神科 4週	選択 28週					

※救急、当直研修はステップアップ形式で行い、研修医の到達度に合わせて段階的に研修を行う。
 ※外科研修は当院、新潟大学医学総合病院、新潟県立がんセンター新潟病院の中から研修医の希望により選択し、研修を行う。
 ※小児科研修は当院で研修を行う。
 ※産婦人科研修は新潟大学医学総合病院、新潟市民病院のどちらから研修医の希望により選択し、研修を行う。
 ※精神科研修は新潟大学医学総合病院、新潟信愛病院のどちらから研修医の希望により選択し、研修を行う。
 ※地域医療は「協力病院・協力施設」に掲載されている病院・診療所から、研修医の希望により選択し研修を行う。(このうち1週間、新潟市保健所での研修も可能)
 ※一般外来研修は、当院及び協力施設となっている診療所にて実施する。

●協力病院・協力施設

【全科】新潟大学医学総合病院、【産婦人科】新潟市民病院、とくなが女性クリニック、【麻酔科、消化器外科】新潟県立がんセンター新潟病院、【精神科】新潟信愛病院、【皮膚科】のもと皮膚科クリニック、【整形外科】あおぞら新津整形外科、【地域医療】新潟県立松代病院、小出耳鼻咽喉科、舟江診療所、ときわ診療所、かえつクリニック、坂井輪診療所、ながおか医療生協診療所、生協かんだ診療所、【地域保健】新潟市保健所、老人保健施設おぎの里

●研修医の待遇 (2021年度研修医)

1年次月額

固定給与: 399,400円 (臨床経験5ヶ月に満たない時期は369,400円)
 当直手当: 平日15,000円、土休日25,000円/1回
 半直手当: 平日7,500円、土休日12,500円/1回
 月額平均計: 430,000円
 賞与: 643,087円

2年次月額

固定給与: 424,400円
 当直手当: 平日15,000円/回、土休日25,000円/回
 半直手当: 平日7,500円/回、土休日12,500円/回
 月額平均計: 470,000円
 賞与: 1,087,020円

●勤務体制

勤務時間 日勤: 8:30~17:15
 半当直: 17:00~22:00
 当直: 17:00~8:30

1週間に午前又は午後の救急研修2~3単位

●研修医当直 回数(月平均) 4回/月(半当直2回、当直2回)

当直時の勤務体制

(研修医以外の当直医数) 2人(内、1人は半当直医)
 (当直研修医数) 1人

半当直は、17:00~22:00の外来救急を対応する。

当直は、副当直医として17:00~22:00は病棟回診、病棟救急、22:00~8:30は病棟、外来救急を対応する。

救急、当直研修は、研修評価会議にて研修医の到達度を確認し、段階的に研修を行う。

※初期研修中は原則として、ひとり当直は行わない。

※当直明けの午後は「明け保障」とする。

●研修医の学習環境

居室 各研修医専用のデスク有

研修室有

当直室5部屋

図書・文献 図書室は終日利用可能

医中誌利用可能

UpToDate 利用可能

文献検索無料

研修図書費: 月額10,000円補助

インターネット環境 各デスクLAN環境完備、電子カルテ用PC支給

その他 学会費は、参加費・交通費を含め年間18万円まで保障

●研修の宿舎の有無など

宿舎 無 希望により紹介可能

初回の引越し費用は当院規定に沿って病院で負担する。

住宅手当(25,000円/月)有

食事 職員食堂・売店有

近隣にコンビニエンスストア有

半当直時は夕食、当直時は夕食、翌日の朝食、昼食を病院で用意します。